

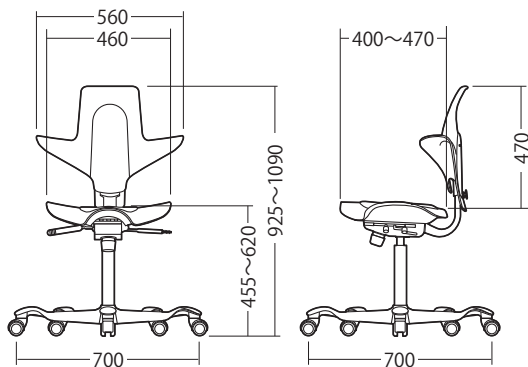
この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。
このレーシングチェアは組立式になっておりますので、下記のとおりで組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

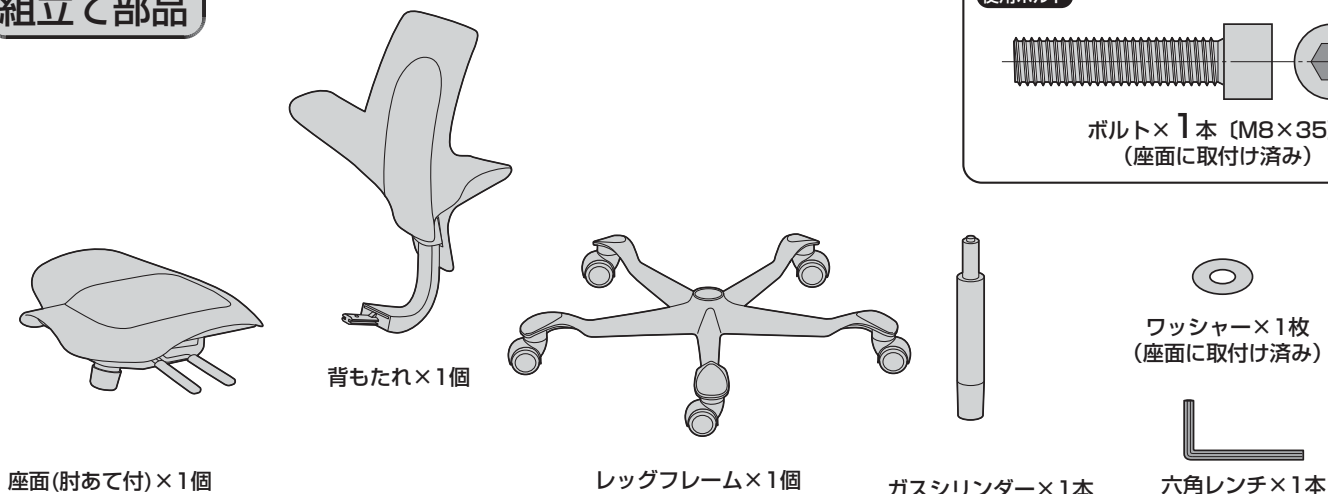
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するように指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

完成図



組立て部品

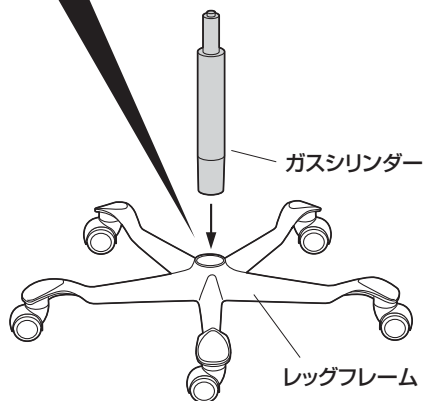


1

レッグフレームにガスシリンダーを取付けます。

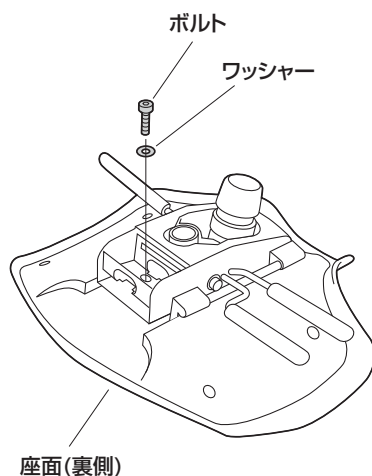
⚠ 注意 ⚠

ガスシリンダーが後で抜ける事の無い様に、押し込みます。



2

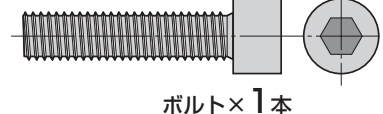
座面のボルトを取外します。



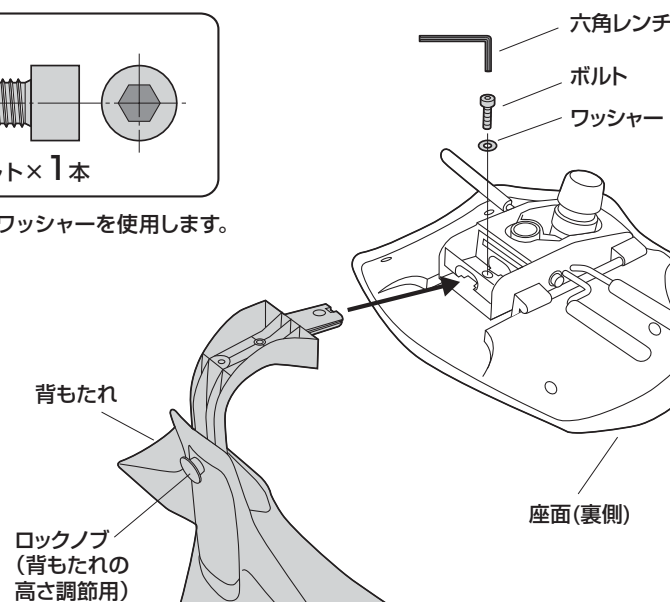
3

座面に背もたれを取付けます。

使用ボルト



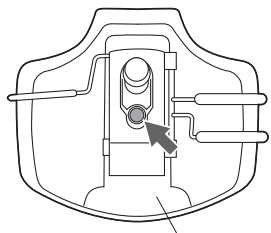
※②で取外したボルトとワッシャーを使用します。



4

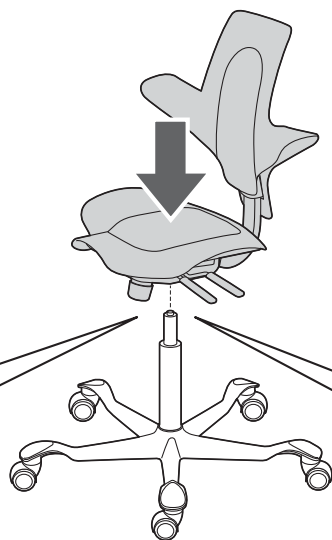
ガスシリンダーに座面を差し込みます。

下から見た図



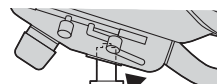
座面

※矢印の穴に差し込みます。

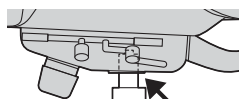


⚠ 注意 ⚠

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜に差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



斜に差し込まれている



まっすぐ奥まで差し込まれている

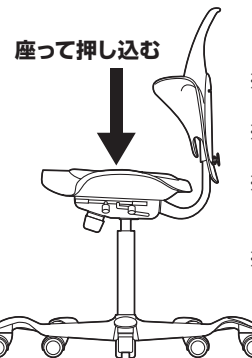


5

座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んで完成です。

最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。



座って押し込む

※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

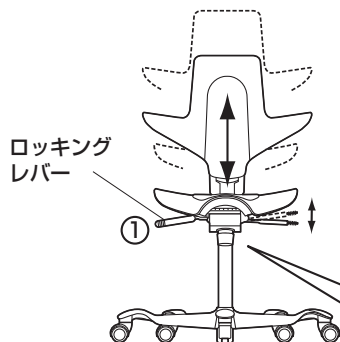
※好みで背もたれにヘッドレストを取付けてください。

各部の調節方法

⚠ 注意 ⚠

高さレバーを持ち上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

- ① ロッキングレバーを前方にするとロッキング機構が動き、レバーを後方にすると固定されます。



下から見た図



ロッキングレバー

緩くなる

固くなる

前後レバー

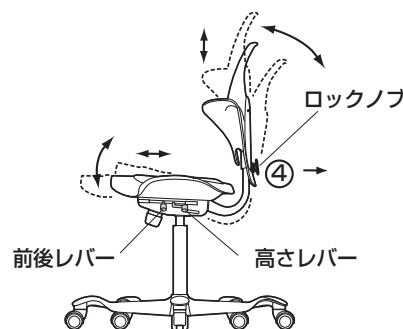
①

②

高さレバー

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロッキングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。

- ② 前後レバーを上を持ち上げると座面の前後調節ができます。
③ 高さレバーを上を持ち上げると座面の高さ調節ができます。



- ④ ロックノブを引くと、背もたれの高さ調節ができます。

⚠ 注意 ⚠

背もたれを倒す時に後方へ転倒しないように注意してください。

チェアの品質表示

外形寸法：幅700×奥行700×高さ925～1090mm（座面高さ455～620mm）
構造部材：座部・背もたれ部/PP、フレーム/アルミニウム、スチール
脚部/アルミニウム、キャスター部/ナイロン
張り材：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

⚠ 使用上の注意 ⚠

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
- 滑りやすい床面で使用しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
- ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
- 座面や肘あての上に登らないでください。転倒の原因になります。
- 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
- 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
- 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
- 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
- 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。

※以上の注意に従ってご使用いただけない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。